

# こころの便り

第259号

令和3年10月

〒679-1434  
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二  
株式会社 新宮運送グループ  
代表/木南 一志  
kiminami@singu.co.jp  
電話 0799-1751212



新宮運送ホームページ

## 守るものを持っているか

秋風が吹き始め、稔りの時を迎えて、大きく時代も変わろうとしています。武漢ウィルスという表現をされないまま、収束に向けて動き始めた感があるウィルスですが、インフルエンザと同じように寒い季節に風邪の症状として広がる可能性は皆無とはなりません。また、感染症という病気は、いかに対策をしていたとしても完璧に防ぐことはできず、体の免疫力が弱くなると感染して症状が悪化するものです。

免疫力を高めていく工夫をしつかりしていかなければ、必ず感染してしまってもいえるのです。同じように仕事の上でも、日々の生活の中でも、これだけはしつかりと守っていかなければならない秘訣があるはずで、それが何であるのかは人それぞれに違います。仕事の種類だけではなく、性別や年齢、育ってきた環境など条件はいくらでもあります。しかし、冷静に見直してみると、水は上から下へ、夜は必ず朝となることなど、絶対に変わらないことが同じように存在していることに気づくはずで、大自然の理というものは、どのようなことがあるようにも変わりない姿で何万年も繰り返してきまし。その同じことを何度も繰り返してきまし。その量が増えたり減ったりということも基本的にはないのです。中秋の名月と呼ばれる月の満ち欠けも繰り返されていくだけなのです。

私たちは生活のリズムを毎日同じように保つことはできません。しかし、そこに変わらないものが必ずあるはずで、自分でその変わらないものを見つけない宝」となる可能性が。守るべきものに拘り、しつかりと守り続けることで磨かれていくはずで、自分にはできないものを見つけないことは簡単ではありません。

人は生まれた時に、誰もが同じように天から手紙をいただいていると教えていただいたことがあります。その手紙の存在すら知らない人、知ることができても手紙の封を開くことなく人生を終える人、しつかりと手紙を読んで分かったとしても途中で挫けてしまう人、手紙の意味を知って一歩ずつ着実に実行する人、さまざま人生ですが、できることなら自分にしかできない役割を果たして人生を歩んでいきたいものです。そのための第一歩は、笑顔だと思えます。

辛いことの多い日々ではありませんが、周りの人に嫌な思いを広げないよう笑顔を大切に、元気にまいりましょう。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

## 尋常小學校修身書 卷六 兒童用

### 第十八課 國民の務 (其の一)

今日文明諸國は、皆協同して、戦争を避け平和を保つために、出来る限りの力を盡してゐます。しかし、世界にたくさある國と國との間には、いろいろの原因からいつ戦争が始まらないとも限りません。それで、もし我が國にも禍が及んで、國の安危に關するやうなことが起つたら一大事です。それ故に、我等が一致して我が國の防衛に心を用ひ、その安全をはかるのは最も必要なこととす。



我が國は昔から一度も外國のために國威を傷つけられたことはありません。これは御代々の天皇の御稜威と、我等の祖先が忠誠勇武であつたことにより、我等も祖先が心を一つにして守護して来たこの國を守つて、光榮ある歴史を汚す事のないやうにしなければなりません。

我が國民中、満十七歳から満四十歳までの男子は、皆兵役に服する義務があります。それで満二十歳になると必ず徴兵検査を受け、體格の完全で強壯な者の中、抽籤に當つた者は、現役兵となつて陸軍又は海軍に入ります。もし國に一大事が起つた時は、現役にある者はもちろん、その他兵役に服する義務のある者は召集に應じて出征します。兵役に服して國の防衛に當る事は、我等國民の最も大切な義務であると共に、また大きな名譽であります。我等は少年の時分から身體をきたへ元氣を養ひ、成長の後には徴兵検査に合格して陸海軍に入り、名譽ある護國の義務を果たすことが出来るやうにしなければなりません。また軍隊に入ることが出来ない者でも、常に心身を養つて、萬一の國難にあたる覺悟がなければなりません。

NPO法人 愛ランド様の協力で障書を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただきました。ありがとうございます。